



### I. 事業概要

最上総合支庁建設部管内図

最上川 最上町 舟形町 最上小国川 最上小国川流水型ダム

○最上小国川の事業概要  
 流域面積 401.2 km<sup>2</sup>  
 流路延長 42.0 km

天然鮎である「松原鮎」が釣れる川

### 発表内容

I. 事業概要	最上小国川の概況
	最上小国川かわまちづくりの事業概要
II. 設計のポイント	①鮎釣りの最適ポイント
	②釣り場の高さ設定
	③「安全面の確保」と「親水空間の創出」の両立
III. 今後の利活用	「道の駅もがみ」のオープン
	イベントの開催予定
IV. まとめ	この現場を担当して感じたこと

### I. 事業概要

**かわまちづくりとは**

- 『河川空間とまち空間が融合した、良好な空間形成を目指す取り組み』のこと。
- 水辺空間の質を向上させ、地域の活性化や地域ブランドの向上などの実現が可能。

**「かわまちづくり」支援制度（国土交通省）**

- 地域の「かわまちづくり」を河川管理者が支援する制度
- 「かわまちづくり計画」を作成し、ハード・ソフト施策の支援を行う。
- 最上小国川かわまちづくり  
 推進主体：最上小国川清流未来振興機構（山形県、最上町、舟形町、小国川漁業協同組合等）  
 河川管理者：山形県

関上地区かわまちづくり（宮城県名取市）

長井地区かわまちづくり（山形県長井市）

国土交通省HPより

## I.事業概要

最上小国川かわまちづくりの事業概要

○平成31年3月に「最上小国川かわまちづくり計画」の認定を受けた。  
県管理河川では**山形県内初**の認定

○親水護岸やスロープ、駐車帯の整備などにより利便性の向上、「親水」の空間及び安心・安全な釣り場を創出することで、交流人口の増加を図る。



「最上小国川かわまちづくり」計画

国土交通省 水管理・国土保全局長




## 発表内容

I.事業概要	最上小国川の概況 最上小国川かわまちづくりの事業概要
II.設計のポイント	① 鮎釣りの最適ポイント
	② 釣り場の高さ設定
	③ 「安全面の確保」と「親水空間の創出」の両立
III.今後の利活用	「道の駅もがみ」のオープン イベントの開催予定
IV.まとめ	この現場を担当して感じたこと

## I.事業概要



かわまちづくり計画範囲

Map labels include: 瀬見おもてなしゾーン, 道の駅もがみ, 瀬見温泉, 大堰温泉, 向町イベントゾーン, アユパーク角形, 角形イベントゾーン, 西ノ前酒造公園, 若あゆ温泉, 赤倉温泉.

凡例:  
● 加史・文化・芸術施設  
● 観光・レジャー施設  
● 小・中学校

## 瀬見おもてなしゾーン


➔


○道の駅もがみ（施工当時：川の駅ヤナ茶屋もがみ）の下流側に、自然とふれあえる憩いの空間を創出するとともに、車いす利用者や身体障がいの方が鮎釣りを楽しめるようなスロープを整備したものの。

○測 量：令和元年10月～令和2年3月  
 設 計：令和3年 9月～令和4年3月  
 施 工：令和4年11月～令和5年7月  
 事業費：92.6百万円

## Ⅱ.設計のポイント

### ① 鮎釣りの最適ポイント

鮎の生態

- ・川底にある石や岩に付着したコケを餌とする。
- ・良質なコケを確保するため、自分だけの縄張りを作る。
- ・縄張りに入ってきた他の鮎を追い払う。

釣り方：友釣り

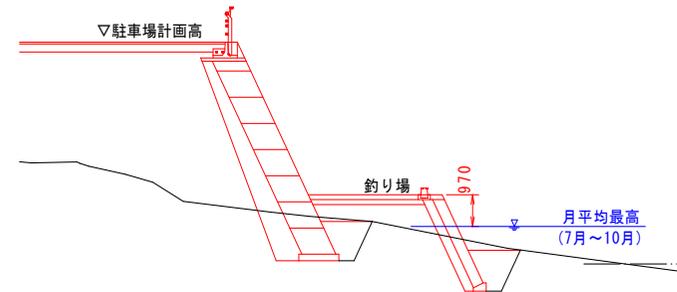
- ・針を仕掛けた鮎（おとり鮎）を泳がせて、体当たりしてくる鮎を針に掛ける。



## Ⅱ.設計のポイント

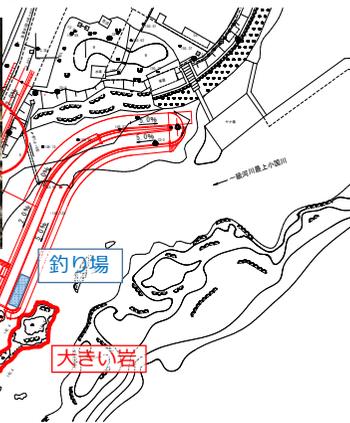
### ② 釣り場の高さ設定

鮎釣りシーズンである7月～10月の平均流量の最大値を採用対象流量から水位を計算し、釣り場と水位の差が1.0m程度となるように計画。



## Ⅱ.設計のポイント

### ① 鮎釣りの最適ポイント



## Ⅱ.設計のポイント

### ② 釣り場の高さ設定

釣り場の高さが低すぎる、岩が近すぎる事が判明。



付近の水位観測所から最新のデータが取れなかった。

土砂堆積により測量時から現場条件に相違が生じた。

設計前に鮎釣りシーズンの水位を観測しておけばよかった。

## Ⅱ.設計のポイント

### ②釣りの高さ設定

有識者との立会いにより、当初計画より75cm上げた高さを釣り場の高さとするに変更。

## Ⅱ.設計のポイント

### ③「安全面の確保」と「親水空間の創出」の両立

**安全面の確保**

駐車場とスロープに高低差ができることから、転落防護柵兼ガードパイプを設置。

**親水空間の創出**

釣り場では防護柵が釣りの支障となることから、縁石工で車いすの転落を防ぐ。

## Ⅱ.設計のポイント

### ②釣りの高さ設定

川に親しみやすい高さ

階段工を増工

当初計画

写真撮影時期：令和5年7月末

## 発表内容

Ⅰ.事業概要	最上小国川の概況
	最上小国川かわまちづくりの事業概要
Ⅱ.設計のポイント	①鮎釣りの最適ポイント
	②釣り場の高さ設定
	③「安全面の確保」と「親水空間の創出」の両立
Ⅲ.今後の利活用	「道の駅もがみ」のオープン
	イベントの開催予定
Ⅳ.まとめ	この現場を担当して感じたこと

### Ⅲ.今後の利活用

「道の駅もがみ」が11月26日にオープン



### Ⅲ.今後の利活用



### Ⅲ.今後の利活用

11月26日にオープン



### Ⅲ.今後の利活用

イベントの開催予定



最上小国川鮎釣り甲子園  
高齢者向け鮎釣り大会

地元の児童による稚魚の放流



## 発表内容

I.事業概要	最上小国川の概況
	最上小国川かわまちづくりの事業概要
II.設計のポイント	①鮎釣りの最適ポイント
	②釣り場の高さ設定
	③「安全面の確保」と「親水空間の創出」の両立
III.今後の利活用	「道の駅もがみ」のオープン
	イベントの開催予定
IV.まとめ	この現場を担当して感じたこと

ご清聴ありがとうございました。



## IV.まとめ

この現場を担当して感じたこと

観光に寄与する土木に魅力とやりがいを感じた。

最上小国川かわまちづくり事業が最上地域の交流人口の増加に繋がればと思う。

市町村や観光協会等と協力し、広報やSNSの活用により観光地として認知してもらうことが必要。